



市史へんさん

第 270 号

令和 3 年 9 月 1 日
小松市史編纂担当
へんさんだより

今年の盆は雨が降り続き、時折大雨が襲って全国各地に被害をもたらしました。例年 8～9 月は、台風の発生が増え、関東から西の太平洋側の降水量が多くなるのですが、今年はそのエリアが日本海側に移り、北海道から東北、北陸、九州北部で川の氾濫、浸水が多発しています。

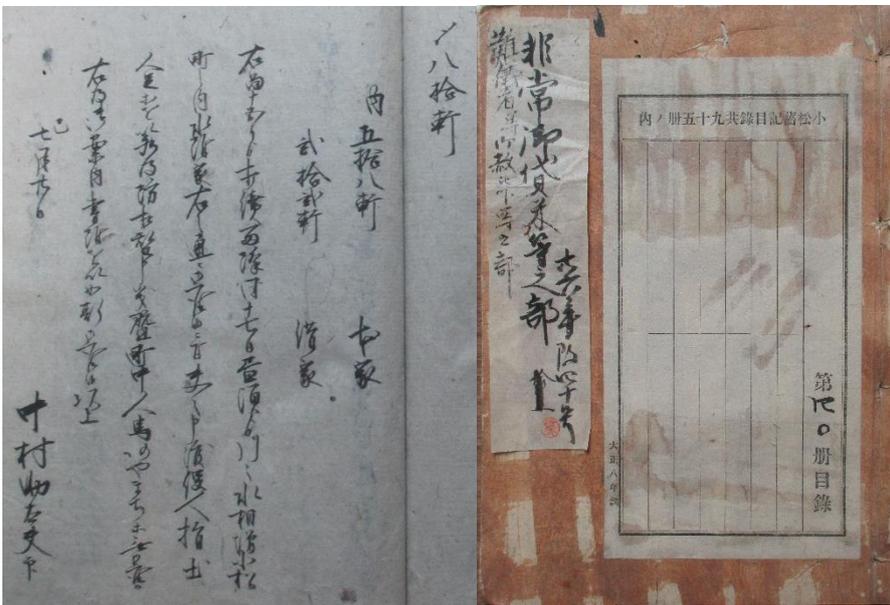
台風と言えば、「二百十日」が知られていますが、立春から数えて 210 日目の 9 月 1 日頃(今年は 8 月 31 日)がその日に当たります。9 月 1 日は、関東大震災が発生した日でもあり、この日は、「防災の日」として制定されています。「二百十日」も自然災害と深く結び付き、この日は防災の心構えを今一度見直してみましょう。持ち出し物の点検や避難場所の確認も忘れずにおきましょう。

『小松旧記』に見る災害史



昨年度で『資料編』18 巻の発刊も終わり、今年度は『通史編 I』の刊行に向けて、ただ今、執筆の最中です。今回の『通史編 I』は、原始・古代から近世にかけて当市の歴史の流れを紹介しますが、上記にも上げた災害は、近世でも多発し、この災害史については、『通史編』でも取り上げる予定です。その一端を紹介します。

災害の記録は小松町会所(小松町の行政を掌る機関)の帳簿等に残されています。この文書は 1 件ごとに袋入りにして保存されており、嘉永 6 年(1853)、明治 26 年(1893)、大正 8 年(1919)の各時期に順次整理し、9263 通の文書を 95 冊の『小松旧記』にまとめられました。その内容は、元和元年(1615)から慶応 2 年(1866)までの小松町の政治、経済、文化、教育、宗教などのあらゆる事象におよび、町人の生活の様子まで窺い知ることができます。江戸期の小松町の実態を知る貴重な資料として小松市の文化財に指定されています。



この中の第 40 冊目は、「非常御貸米並御定等之部」と題して、文化年間から嘉永年間(1804～1853)にかけて起こった火災や水害の記録が載っています。

火災は 16 件にも及び、その記録には、火元の家主の名前や類焼・潰家の軒数、現場の火災状況も記されています。被害が大きい時は、御貸米や御救米を出して救済に当たっています。

水害も 5 件と頻繁にあり、被害の多くは水附(浸水)で、浸水した家屋数、大雨の状況、被害に対する対策などが詳細に記載されています。

写真は弘化 2 年(1845)の洪水の記録。「八拾軒」とあるのは浸水家屋の総軒数で、その内訳は本家(持家)58 軒、借家 22 軒となっています。その状況については、「右當十五日方打續雨降 同十七日昼頃方川之水相増 小松町之内水附家右之通ニ御座候ニ附 夫々申渡役人指出 人足等を以爲防相替申義 暨町中人馬あやまち等無御座候 右爲御案内書附を以如斯御座候 以上」とあるように、「(7 月)15 日より連日雨が降り続き、17 日昼頃には河川が増水、小松町の家屋が浸水したので、人足を出して防禦に務めた。人畜への被害は無かった。」と御算用場(財政を掌る役所)に報告しています。写真にはありませんが、町別の浸水家屋数も記され、泥町(現大川町)、松任町、中町、新町、細工町、土居原町で被害があり、梯川の氾濫によることがわかります。

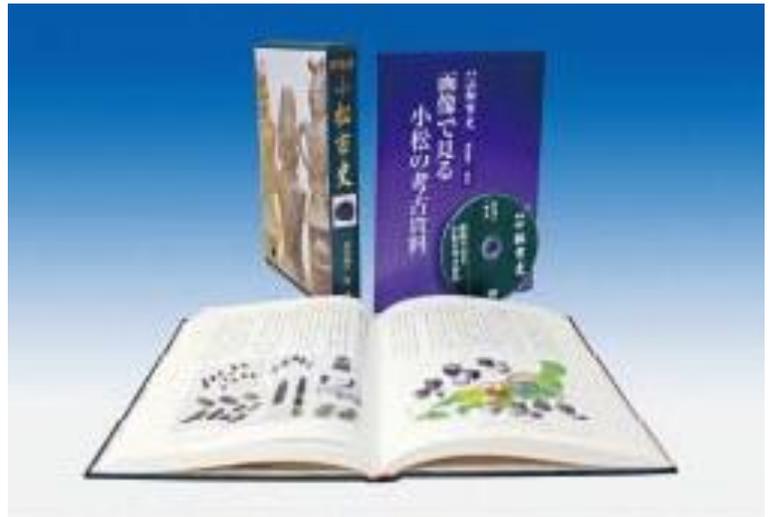
自然災害は大雪や地震もあり、それに伴い飢饉が多発し、凶作・不作に農民は苦しい生活を強いられました。また、コロナ禍のような疫病も流行り(第 266 号を参照)、今以上の災難を当時の人達は乗り越えてきたのです。

『新修 小松市史 資料編 17 考古』付録 DVD の見どころ

『考古編』の最後に紹介するのは付録 DVD です。「画像で見る小松の考古資料」と題して、『考古編』の本文に掲載した遺跡で、本文では紹介できなかった遺跡、遺物の写真・図版を収録しています。

本文と同様に、時代順で、縄文時代 22 遺跡、弥生時代 12 遺跡、古墳時代 21 遺跡、古代 16 遺跡、中世 5 遺跡、近世 3 遺跡を紹介します。

また、遺跡の位置がわかるように、本文 2 章 2 節で掲載した遺跡地図を利用し、この地図に遺跡名を書き込み、ここをクリックすると、先と同様に遺物・図版を見ることができます。



この他に、本文 1 章の関連では、当市全域の航空写真を使って、当地域の山地・平地・河川等の地形を紹介します。また、今回の目玉調査の一つである木場潟・今江潟の年代測定のための調査風景も入れてあります。

さらに、市埋文センター発行の普及冊子『こまつの原始・古代ものづくり』、『八日市地方遺跡 ー地中から今、弥生時代が甦るー』、『矢田野エジリ古墳出土埴輪の世界』の 3 冊もこの DVD で見ることができます。

DVD には本文の PDF も収録されており、見比べながらこれまでの発掘調査の成果をご覧いただけます。より内容の充実した 1 枚となっています。



八日市地方遺跡出土 集落Ⅱ期の土器(市埋文センター提供)

<8月の活動状況>

- ・ 8月 4日(水) 通史(中世)部会
- ・ 8月 16日(月) 資料調査(蛭川町)
- ・ 8月 18日(水) 『武州文書』資料調査(国立公文書館)



<9月の活動予定>

- ・ 9月 15日(水) 通史(近世)部会
- ・ 9月 22日(水) 通史(中世)部会



<9月のカレンダー> 開室時間 10:00~12:30/13:00~17:00 (火~土)

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
8/29	8/30	8/31	9/1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	10/1	10/2

* は閉室しています。開室時間は、図書館の開館時間に合わせてあります。上記以外の時間も含め、御用のある方は、9時から17時まで受け付けていますので、下記にご連絡ください。

小松市史編纂担当 (小松市立図書館 2階)

- ・ 住所 〒923-0903 小松市丸の内公園町 19 芦城公園内
- ・ TEL 0761(24)5315 ・ FAX 0761(22)9763
- ・ E-mail hensansitu@city.komatsu.lg.jp
- ・ URL <https://www.city.komatsu.lg.jp/soshiki/toshokan/shishihensan/index.html>

